

私の神への忠誠ゆえの不服従に関する宣言文

2018年12月12日

秋雨契約教会

王 怡 牧師 (おう い)

中華人民共和国 四川省 成都市

編集者の注記：12月9日(日)以来、中国成都の秋雨契約教会の信徒が百名以上も逮捕された。宣言文の英訳が公開された時点、更に逮捕された方がいる。逮捕された信徒の中に、秋雨契約教会の主任牧師、王怡牧師(おう い)と、蔣蓉牧師夫人(じゃん ろん)も含まれており、9日(日)から連絡取れない状況である。王牧師夫妻の神学生を含む多くの教え子も未だ留置されている。

王師は中国プロテスタント教会の最も有名な牧師の一人であり人権を唱えるものとして知られ、教会運動のリーダーでもある。王師の秋雨契約教会は非登録「ハウス・チャーチ」の中でも有名である。習近平(しゅうしんぴん)中国国家主席政権の下、信教の自由が加速的に悪化している。特に、2018年2月施行された、宗教関連の事柄を治める新規制の影響が大きい。よって秋雨契約教会のような「非公式」教会に対する罰が深刻化された。この出来事について、ニューヨークタイムズ、ウォールストリートジャーナル、ロイター通信、AP ニュース、ワールドマガジンが取り上げている。

現状を予想した王牧師は、本宣言文を書き、48時間以上拘留が続いた場合、公表するように教会に伝えていた。初稿を2018年9月21日に執筆し、2018年10月4日に改訂した。本宣言文は、神への忠実ゆえの不服従(faithful disobedience)の意味と必要性、更に、政治的活動や市民的不服従とどう違うのか、キリスト者はどのように遂行すべきなのかを説明する。英訳のブレント・ピンカルとエイミー・チョンに感謝する。

(和訳：堀田正邦、堀田キング三千子)

私は聖書の教えと福音の目的を基盤にして、神様が中華人民共和国に立てた権威者を尊敬します。神様は王を退け、また王を立てるからです。それ故、私は神様が中国に立てた歴史的また組織的定めに服従します。

私はキリスト教会の牧師として、正義なる社会の秩序と善い政治に関する見解を聖書に基づいて理解しています。同時に、私は、キリスト教会を迫害する共産主義政権に、人々の信教の自由と良心の自由を奪う悪に対して怒りと嫌悪感に満ちています。しかし社会的また政治的組織を変革することは私に与えられた召命ではありません。また神様をご自身の民に福音を与えた目的でもありません。

なぜなら全ての最悪な現実や、不義な政治や、専制政治は、イエス・キリストの十字架を顕します。イエス・キリストの十字架こそが、全ての中国人が救われる唯一の方法です。また、全ての悲惨な現実、真の希望と完璧な社会はいかなる地球的組織や文化の変化によっても実現しないことを顕しま

す。ただ、キリストにあって私たちの罪が全て無償で赦されて永遠のいのちが与えられることにおいて顕れるからです。

私の福音における確信と、私が教えることと、私が全ての悪を非難することは全て、キリストが福音で命じていることと栄光ある神なる王様の人知を超える愛から来ます。誰であっても、人間の生涯は非常に短いものです。神様は、教会が悔い改めるのをいとわない者であれば誰でも悔い改めるように導びいていくことを熱意を持って命じています。キリストは、罪に背を向く者を全て喜んで赦して下さいます。これこそが中国の教会の全ての努力の目標です。私たちのキリストをこの世に証しすること、今の「中間時点」にある王国に対して天の御国を証しすること、消えて行く地上の生涯に対して終わりが無い天のいのちを証しすることです。これを証しすることが、牧師として私に与えられた召命です。

ですから、神様は現在の共産主義政権が一時的に治めることを許していることを受け止めて尊重します。主のしもべであるジャン・カルヴァンが言ったように「悪しき統治者は悪しき民にくだされる神の裁きである。その裁きの目的は、神の民が悔い改めて再び神に向かうためである」。故に、私は主の教育と訓戒に従うことによって、喜んで法の施行に服従します。

同時に、教会に対する共産主義政権の迫害は邪悪であり、不法行為だと思います。キリスト教会の一牧師として、この邪悪な行為を公に厳しく非難せずにはられません。私が受けた召命は、聖書と神様の教えに反する人間的な法律に対して非暴力的な方法を用いて不服従することを要求します。また邪悪な法に服従しないことから来る全ての結果を喜んで背負うように、私の救い主キリストは要求しています。

しかし私個人の不服従と教会の不服従は、権利のために戦っているのでもなく、政治的活動による市民的不服従でもありません。なぜなら私は中国の政府や法律を変えようとしているわけではないからです。牧師として私はただ神への忠実ゆえの不服従から人間の罪深い性質を想起させて、キリストの十字架を指し示すことだけを思っています。

私の不服従は福音宣教の任務の一部です。キリストの大宣教命令は偉大な不服従を要求します。不服従の目的はこの世を変えることでなく、「別の世界」を証することです。

なぜなら教会の使命はただ「教会」であることであり、いかなる世俗的組織の一部になることではありません。否定的な観点を取ると、教会はこの世から離れることであり、この世に組織化されることを避けるために守ることを意味します。肯定的な視点を取ると、教会の全ての行動は、この世に「別の世界」の真の存在を証明することを目指します。福音と人の良心に関わる全ての事柄において、人ではなく神様に従わなければいけないと聖書は私たちに教えています。霊的な不服従と肉体的な苦しみは両方とも、永遠の世界を証しし、栄光の王を証しするのです。

それゆえ、私は中国の政治的・法的組織を変革することに関心がないのです。共産主義政権が教会を迫害する政策がいつ変わるのかにも関心はありません。私は今もこれからもどんな政権の下に生きようとしても、世俗的政府が教会を迫害する限り、神様にのみ所属する人の良心を犯す限り、私は神へ

の忠実ゆえに不服従を続けます。神様が私に託した使命は、人類と社会の唯一の希望がキリストの贖いにしかないこと、神様の超自然的な恵み豊かな主権にしかないことを、私の言動を通して、一人でも多くの中国人に伝えることです。神様がもしこの共産主義政権による迫害を用いて、より多くの中国人が彼らの将来に絶望し、霊的な幻滅という荒野の中を歩ませて、イエス様に会わせるのであれば、神様がもし教会を続けて訓練させ建て上げるのであれば、私は喜んで神様のご計画に従います。神様のご計画はいつも情け深くて善いからです。

私の言葉と行動は社会的また政治的変革を目的としてないからこそ、私はいかなる社会的政治的権力を恐れませんが、神は悪を行う人を裁くために政治的権力者を立てると聖書は教えます。善を行う人を裁くためではありません。イエス様を信じる者が悪を行っていないのであれば、闇の力を恐れる必要はありません。私は弱い時が多いけれども、これこそ福音の約束だと硬く信じます。私はこの福音に全てのエネルギーを献げて来ましたが、私が中国の社会に広めようと努めている善き知らせです。

教会が恐れなくなったことが、共産主義政権が教会を恐れる原因であることを十分承知しています。もし、私が長い期間又は短い期間投獄されても、権威者が私の信仰と救い主に対して感じている恐れを少しでも減らすことが出来るのであれば、喜んでそう助けてあげたいと願っています。しかし本当に権力者や警察機関の方々の魂を助けるためには、教会に対する迫害の邪悪さを十分に非難し、穏やかに抵抗しなければなりません。神様が私を用いてくださるよう願います。自分の自由を捨てることによって、私の自由を奪った人たちに、彼らの権力をはるかに超えた権力者がいることを伝えたいのです。彼らには絶対束縛できない自由があり、その自由こそが十字架に架けられ、よみがえられたイエスキリストの教会に満ちることを伝えたいのです。

政府が私をどんな犯罪で告訴したとしても、どんな暴言を吐かれたとしても、その非難が私の信仰に関わるのであれば、私の記述や言葉や教えを非難するものであれば、それは悪霊の嘘と誘惑に過ぎないのです。私はその非難を根本から否定します。私は刑に服するが、法には服従しません。私は処刑されるかもしれませんが、罪に服しません。

さらに言いますが主の教会とイエスキリストを信じる全ての中国人に対する迫害は中国社会の中でも最も残酷な悪であることを言います。この罪はキリスト教徒だけに対して犯している罪ではありません。キリスト教徒でない人々に対してでも罪なのです。なぜなら、彼らがイエス様の御許に来れないように、情け容赦なく脅迫して妨害しているからです。この世に、これ以上邪悪なことはありません。

この政権が神様によっていつか打倒されるのであれば、神様がこの悪を、義を持って裁き復讐することに他なりません。この地上には、千年存在した教会しかありません。千年存在した政権はありません。永遠に残るのは信仰のみです。権力は永遠ではないのです。

私を閉じ込める者は、天使によって閉じ込められる日がきます。私を尋問する者は、最終的にキリストに尋問され、裁判を受けます。これを想い起こすと、私を捕えようと試みている者、また既に捕らえている者に対して当然ながら思いやりと悲しみで主は私を満たされます。主がどうか私を用いてくださるようお祈り下さい。主が忍耐と知恵を与えて下さり、福音を伝えることができますようお祈り下さい。

私を妻と子どもから引き離すこと、私の面目をつぶすこと、私の生活と家庭を崩壊すること、これら全ては権力者には可能なことです。しかし、この世界のいかなる力は何一つとして私に信仰を放棄させることができません。何一つとして私の人生を変えさせることができません。何一つとして私を死からよみがえらせることはできません。

ですから、尊敬する警官たち、悪を行うことをお辞め下さい。私のためでなく、あなたとあなたの子どもたちのためです。どうか手を引いて下さるように嘆願します。私のような惨めな罪人のために、あなたはなぜ地獄の永遠の裁きという代償を負うのですか。イエス様はキリスト(主)であり、永遠の生ける神の御子である。イエス様は私たちのような罪人のために死なれ、よみがえりました。イエス様は私の王様であり、全世界の王様なのです。昨日も今日も永遠に王様です。私は彼のしもべであり、彼のために投獄されています。神様に抵抗する者に対して、私は柔和を持って抵抗します。神様の法を破る全ての法律を私は喜んで破ります。

付録：信仰的不服従とは何か

聖書は、政府のいかなる部門にも、教会を治めたりキリスト教徒の信仰を妨げたりする権威を与えていないと堅く信じます。それ故、教会を脅迫しキリスト教徒の信仰を妨げる行政施策や行政処分があるのであれば、柔和と喜びを持って穏やかに又積極的に抵抗することを聖書は要求しています。

以上述べた不服従は、霊的行為だと堅く信じます。教会を迫害し福音に対抗する現代の独裁的政権の下で、霊的な不服従は、福音運動に不可欠な避けられない部分です。

霊的不服従は、終わりの時代の行為だと堅く信じます。神様の永遠の御国を、罪と悪の一時的な主権に証しする行為です。不服従するキリスト教徒は、十字架刑に処されたキリストが歩まれた十字架の道を模範にします。穏やかな抵抗はこの世と調子を合わせずにこの世を愛する方法です。

霊的不服従を実行する際、聖書はキリストの恵みと復活の力に頼ることを命じていること、二つの境界線を尊重し超えてはならないこと堅く信じます。第一の境界線は心に関わります。霊的不服従の動機は魂を愛することであり、肉体を憎むことではありません。霊的不服従の目的は魂が変えられることであり、状況の変化ではありません。いかなる時も、もし外的圧制と暴力が私の内なる平安と忍耐を奪い、教会を迫害しキリスト教徒を乱暴に扱う者を憎む苦々しい思いが心に湧き上がるのであれば、その時点で霊的不服従は敗れます。

第二の境界線はふるまいに関わります。福音は、信仰ゆえの不服従が非暴力的でなければいけないことを要求します。福音の神秘は、肉体的に抵抗する代わりに、時には不法な処罰をも耐え忍ぶことを覚悟して積極的に苦しみを選ぶことにあります。穏やかな抵抗は愛と赦しの結果です。十字架の意味は、私たちに苦しむべき負いが無かったとしても苦しむことをいとわないことです。キリストは反撃できる無限の能力を有していたのにも関わらず、すべての屈辱と痛みを耐え忍びました。キリストが

反抗してくる世界に抵抗した方法は十字架を見てわかります。キリストは十字架の上から平和の象徴としてのオリーブ枝を、まさにご本人を十字架に架けた世界に差し伸べました。

キリストは、私が福音に対抗して教会を迫害する政権の下にあって、信仰的不服従を奉仕の生き様を通して遂行するように示していると堅く信じます。これは、福音を宣べ伝える手段であり、私が説く福音の神秘です。

主のしもべ

王 怡